

家庭でのインターネット利用

ネットワークに潜む危険

情報通信ネットワークの発展に伴い、私たちは有益な情報を簡単に取得したり、発信したりすることができるようになりました。しかし、インターネット上の不適切な情報、迷惑メール、ネット詐欺、掲示板、チャットによる人間不信等、いわゆる「情報化の影の部分」に関する問題も指摘されています。家庭でのインターネット等の利用には、保護者の十分な配慮が必要です。

ネットワークに潜む危険

知的所有権の侵害

他人の絵や写真を無断で使う
プログラムソフト等を無断でコピーする

セキュリティー

コンピュータウイルスに感染する
コンピュータ内のデータが盗まれる

有害情報へのアクセス

成人向け、自殺等のサイトを閲覧する
ネット通販による詐欺に遭う
法律で禁じられているものを購入する

個人情報の漏洩

住所・氏名等の個人情報が流出する
コンピュータ内のデータが盗まれる

マナーやルールの無視

掲示板やチャットに無責任な書き込みをする
他人を誹謗・中傷する書き込みをする

家庭での対応

子ども達の作品、使っているプログラムソフト等を把握する

コンピュータウイルス対策ソフトをインストールする
ファイルにパスワードを設定する

子どものアクセス先を把握する
フィルタリングソフトを導入する
保護者のいる所でホームページをみる

安易に住所・氏名・電話番号・カード番号等の個人情報を入力しない
コンピュータの盗難に注意する

思いやりの気持ちを持った行動がとれるよう、日頃から家族と話し合いを持つ

Point

子どもと保護者で約束を決めましょう (約束の例)

保護者のいる所でインターネットを利用する
インターネットを利用する時間を決める
調べ学習のため等目的を持ってインターネットを利用する
他人を誹謗・中傷することは書かない等のマナー・ルールを守る

インターネットに接続するときは、いっしょにね



家庭でのインターネット利用

コンピュータウイルス対策と有害情報対策

ネットワークに潜む危険の中の「コンピュータウイルス対策」と「有害情報対策」について考えてみましょう。

コンピュータウイルス対策



どんなときコンピュータウイルスに感染するのか

- ・ウイルスに感染したホームページを閲覧する
- ・ウイルスに感染したメールやその添付ファイルを開く
- ・ネットワークを通して侵入してくる 等

コンピュータウイルスに感染すると

コンピュータ内のデータが壊される
コンピュータが動かなくなる
コンピュータ内のデータが盗まれる
勝手にメールを送りつける
等の障害が起こります

対策

コンピュータウイルス対策ソフトをインストールする

一般的なコンピュータウイルス対策ソフトの有効期限は1年間です。1年後は更新の手続きが必要となりますので注意しましょう。

有害情報対策



どんなとき有害情報に接するのか

- ・調べ学習をしていて偶然、接する
- ・キーワードで検索していて偶然、接する
- ・興味本位で接続する 等

有害情報へアクセスすると

成人向け、自殺、薬物等の有害サイトを閲覧してしまう
悪意のネット通販による詐欺に遭う
法律で禁じられているものを購入する
等による子どもへの悪影響があります

対策

フィルタリングソフトを導入する

フィルタリングソフトとは、インターネットの有害情報を遮断するためのソフトのことです。フィルタリングソフトには2種類あります。

- ・パソコンにインストールするタイプ
- ・プロバイダが提供するフィルタリングサービス

Point

フィルタリングソフトを導入しても、有害情報から完璧に守られるわけではありません。保護者が子どものパソコンの使用状況を常に把握していることが大切です。

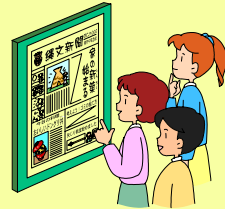


家庭でのインターネット利用

インターネットの掲示板ってどんなもの？

駅などで見られる「伝言板」、新聞や雑誌などにみられる「投稿コーナー」などのように、ちょっとした連絡や自分の考えをインターネット上に書き込むことができるのが、「掲示板」です。同じ趣味を持つ仲間とおして会話を楽しんだり、住所や名前を書かなくても、「ハンドルネーム」というニックネームだけで気軽に参加することができたりする所が、子どもたちに広がっている要因の一つです。

いつでも、誰でも匿名で、自由に意見が言えたり、情報交換したりできる所が「掲示板」のよいところですが、もしトラブルが発生すると、解決することが難しい場合も出てきます。



掲示板を利用する際の注意点

掲示板には、役立つ情報もあれば、うその情報もあります。書かれていることがすべて本当とは限らないので注意しましょう。

掲示板には、注目されたいために、わざと面白く書いたり、おおげさに書いたりされることがあります。鵜呑みをしなないようにしましょう。

相手の書いたメッセージに腹を立てて言い返してしまったり、けんかになってしまったりすることがあります。思いやりの心を大切にしましょう。

相手の顔や声、名前もわからないし、文字だけのやりとりだから本当の気持ちが伝わらなず、誤解を招いたり、意見のくいちがいが起こることがあります。言葉の選択には配慮しましょう。

会話しているうちに仲良くなり、相手に会いたくなることも出てくるかもしれませんが、けれど、相手はどんな人だかわかりません。むやみに会う約束はしないようにしましょう。



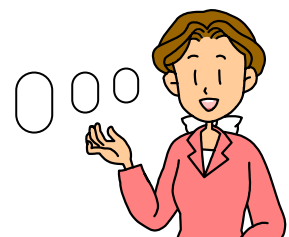
もし、悪口や嫌がらせなどの被害にあってしまったら

掲示板の管理者に削除依頼をする
携帯電話番号やメールアドレスなどを変更する
相手に仕返し等をせず、嫌がらせをエスカレートさせない 等

Point

トラブルに巻き込まれないために...

- ・ インターネットで知り合った相手を、すぐに信用しない
- ・ 個人情報等については、書き込まない
- ・ いつも相手の気持ちを考え、軽はずみな発言をしない



家庭でのインターネット利用

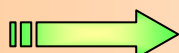
携帯電話とどのように向き合えばよいのか？

携帯電話は、いつでも、どこでも気軽に電話やメールをしたり、インターネット接続したりすることができる便利な道具です。便利な反面、危険が伴っているというのも事実です。

携帯電話の利便性ととも、影の部分についても伝えたり、教えたりするのも保護者としての大切な責任です。



携帯電話を買って...そんな子どもの声に



保護者としての考えをきちんと示していますか？

「友達が持っている。みんな持っている。」という言葉に負けて持たせるのではなく、何のために必要なのかということをはっきりさせた上で持たせることが大切です。

携帯電話は、子どもの交友関係を広げます。今まで以上に親子の会話を大切にしていくことが必要です。

携帯電話の購入に際しては、料金も含め利用時間や利用方法についての約束ごとを決めることが大切です。

携帯電話の賢い使い方について話し合う事が大切です。

「出会い系サイト」など、危険性を伴っていることについても話題にしていくことが大切です。

携帯電話の影～こんなこと知っていますか？～

携帯電話が側にないと落ち着かない子(携帯電話依存症)、携帯に支配された関係(携帯中毒)

「出会い系サイト」「架空請求」「迷惑メール」「個人情報漏洩」等の危険性や被害の現状

出会い系サイト関連事件の約 95%が携帯電話によるもの(平成 15 年度・警視庁調べ)

出会い系サイト関連事件の被害者の約 85%が、18 歳未満の児童生徒

(平成 15 年度・警視庁調べ)

携帯電話の 3 K(危険、金、心)

援助交際相手募集の書き込みをしただけでも罪になる 等



Point

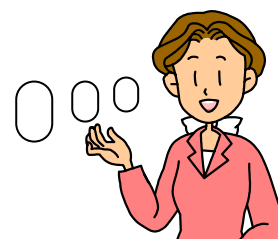
我が家の携帯ルールを作ろう(ルールの一例)

食事中は電源を切り、家族の会話を大切にする。

夜遅い時間には、メールや電話をしないようにする。

公共の場(図書館、バスなど)での使い方に注意する。

携帯の利用金額の約束をつくる。 等



家庭でのインターネット利用

有害情報から子どもを守るには？

ネット上に流れる情報は多種多様で、便利な反面、子どもたちに触れさせたくない有害情報（暴力、麻薬、殺人、アダルトなど）を掲載しているWebサイトが数多くあるというのも事実です。近年、「自殺サイト」や「出会い系サイト」などが犯罪や事件などに結びつく事例が増えています。このようなサイトへのアクセスを制限したり、遮断したりすることができるのが、**フィルタリングソフト**です。

有害情報から、子どもたちを守るための一つの対策として、家庭でもフィルタリングソフトを導入する例が増えています。



今すぐできるフィルタリング



あらかじめフィルタリング機能が付加されている**子ども用の検索エンジン**を利用する。
IE (Internet Explorer)の「ツール インターネットオプション コンテンツ **コンテンツアドバイザーを有効にする**」

フィルタリングソフトを導入すると...

セックス、暴力、言語表現、ギャンブル、カルト、出会い、掲示板などのカテゴリーの中から、子どもに見せたくないものを選択して遮断することができる。

ブラックリスト機能 通常のフィルタリングにかからないサイトを個別に遮断する。

ホワイトリスト機能 通常のフィルタリングにかかるサイトのアクセスを個別に許可する。
ネット利用の時間を制限することができる。

フィルタリングソフトは万能ではない。全ての有害情報を遮断することができるわけではありません。子どもたちから、有害情報を遠ざけることができる役割だという認識を持つことが大切です。



<参考サイト> 財団法人インターネット協会

無償提供フィルタリングソフト <http://www.iajapan.org/filtering/>

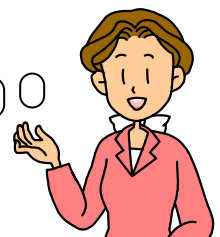
<相談窓口> 岐阜県警サイバー犯罪対策室 サイバー犯罪110番

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s18879/hightec/hitecform.htm>

Point

情報に関する判断力の育成を...

有害情報に触れさせないフィルタリングも、大切な方策の一つですが、最終的には、子どもたちがインターネット上に氾濫する情報の中から役に立つ情報を選び出したり、他人と上手にコミュニケーションをとったりするスキルを身に付けることです。そのためには、子どもにインターネットの利用ルールについて教えたり、一緒に考えていったりすることが大切です。

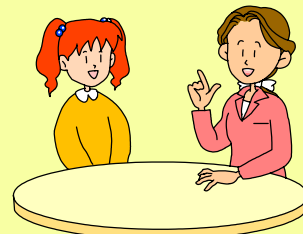


家庭でのインターネット利用

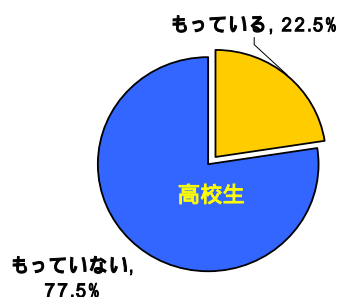
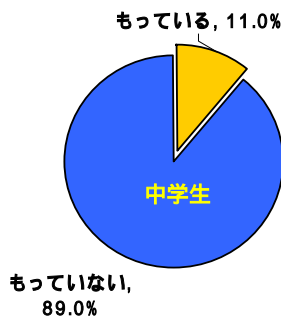
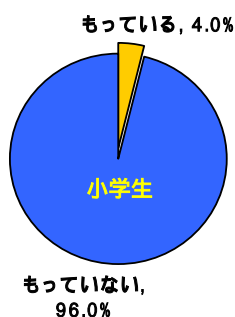
ブログには、どのような危険性があるの？

小学校5年生から高等学校3年生までを対象として、平成18年11月に実施した「情報モラルにかかわるアンケート」によれば、携帯電話やパソコンから見る事ができる自分のWebページやブログサイトを持っている子供たちの割合は、下のグラフのような結果でした。

学年が上に進むにつれて、その割合は高くなり、高校生は約4分の1がもっているという実態が見られます。最近では、携帯電話を利用して手軽に自分のブログサイトを持つことができるようになり、その割合は、今後さらに増加することが予想されます。保護者の皆さんは、ブログについてどのくらい知ってみえますか？今回は、ブログについて考えてみましょう。



あなたは、携帯電話やパソコンから見る事ができる自分のホームページ(ブログ含む)を持っていますか？



平成18年11月 岐阜県教育委員会実施
「情報モラルにかかわるアンケート」より

ブログって何？

「ブログ」とは「ウェブログ(web-log)」を略した言葉で、「Web上に残される記録」というような意味を持ちます。ブログの中には、社会問題などを扱ったものから、興味のあるニュースに個人の考えや意見を加えたもの、個人的な日記やエッセイ、カメラつき携帯電話で撮った写真を載せたものなど、さまざまなテーマ、内容のものがああります。しかしブログが広がるにつれ、短いWeb日記のようなものが主流となるようになってきました。

Point

思いやりの心を大切に...

相手が見えないからこそ、普段の会話以上に書くことを考える必要があります。自分の言葉に責任を持つことが大切です。

心あたたまるブログとは、どのようなものかを考えてみましょう。

ブログが持つ危険性...

インターネットの普及につれて、多くの人が個人のWebサイトで日記をつけ始めようになりました。Web日記は紙の日記とどのような点が異なるのでしょうか？

インターネット上で、内容が広く一般に公開されている。ほかのサイトからリンクされたり、論評されたりする。電子メールなどを通じて著者と読者がコミュニケーションをはかることができる。特定の話題について電子掲示板で多人数で議論することが容易である。



簡単に言えば「インターネット上の日記」で、公開しているわけですから、「誰に見られても良い」と思う日記を書かなければ、トラブルの元になってしまいます。書いた内容によっては、けんかになったり、いじめに発展したり、或いは個人情報を公開してしまったりということになります。そんなことにならないような配慮が必要です。